

□□□あしべつ応援大使に料理人の脇屋友詞さんが就任



2月19日、東京都内「Wakiya一笑美茶樓」など複数の中華料理店でオーナーシェフとして活躍する脇屋友詞さんに、本市9人目となる星の降る里あしべつ応援大使の委嘱状が手渡されました。

脇屋さんは芦別市生まれ。東京の
ホテルなどで修行を積み、総料理長

を歴任。フジテレビ「料理の鉄人」やNHK「きょうの料理」など多数のテレビ番組へ出演しているほか、自身のYouTubeチャンネルなど多数のメディアで活躍しています。

脇屋さんは「料理人として、芦別の魅力を広く発信していきたい」と話していました。

芦別の炭鉱とマチの社会史、刊行記念シンポジウムを開催

3月3日、「芦別炭鉱〈ヤマ〉とマチの社会史」の刊行記念シンポジウムが市立図書館で開催されました。

昨年12月に出版され、刊行記念として、市民ら105人が訪れました。

全国各地で石炭産業の歴史を調査している社会学者らでつくる「産炭地研究会」の主催で、立教大学経済

学部の島西智輝教授が、「芦別の炭鉱〈ヤマ〉—ローカル・ヒストリーから見る近現代日本—」と題して基調講演を行いました。

最後に、本書の執筆に携わり2月に亡くなった「星の降る里百年記念館」元館長、長谷山隆博さんの追悼動画も上映されました。



札幌近郊の大学生 7 人が市内の企業で就労体験



3月6日から8日までの3日間、札幌市及び札幌近郊に所在する大学の学生（1～3年生）を対象に市内企業インターンシップ（就労体験）が行われました。

今回は、星槎道都大学の1年生6人、北海道情報大学の1年生1人が参加し、介護老人保健施設すばる、

スターライトホテル、大旺鋼球製造
株式会社、株式会社ビックボイスの
4社が大学生を受け入れました。

8日には市役所内で意見交換が行われ、学生からは「手厚いサポートがあり、楽しい経験ができた。」「SNSなどで芦別のよさを発信してもらいたい。」など感想が寄せられました。

国際理解講座「イースターを楽しもう」イースター・パーティー

国際理解講座「イースターを楽しもう」イースター・パーティーが3月16日、市民会館で芦別市国際交流協会（中本純一会長）の主催で開催されました。

会場では、国際交流員のデミアン・オケインさんがイースター（キリストの復活祭）についての歴史や文化

を説明した後、市内小学生や保護者などの参加者約15人とイースターにちなんだ卵のペインティングやウサギの福笑いなどが行われました。

空の卵をスプーンに乗せたタイムレースでは、卵を落とさないよう慎重にハイタッチ。参加者による楽しい交流になりました=写真=。

